

絵本で子供たちに伝えたい

————— HAPPY CREATOR たかい よしかず さん

自分より絵のうまい人はたくさんいる



絵が好きであることは誰にも負けなかったであろうたかいさん。でも、自分よりうまい人がいることを、小さい頃から知っていたという。

「ある子が怪獣を描いてて、すごくうまいんですよ。自分はそこまで描けなかった。だから、彼に『怪獣の絵、描いてえ』って描いてもらってました」

「大きくなっても、自分よりうまい人が山のようにいるというのは常にわかってたんで、じゃあ

そういう人たちと自分は何が違うのか、どこを攻めれば自分の絵がつかれるのか

ということを考えてました」

「会社に入っても、すごい先輩がたくさんいて、どんな絵を描いても、誰にも勝てない。自分はいったい何を描けばいいのかとすごく悩みました」

「そこで、ちょっとおちゃらけた、ギャグっぽい、おもしろキャラクターだったら自分に描けそうだったので、そっちの方の道を選んで、走り通してきたんです」

自分の立ち位置を考えて道を見つけ出し、20年以上、突っ走ってきた、とたかいさんは言う。

「僕がなぜいまここまで来れたかというと、途中でやめなかったから。

とくに絵を描くような仕事は、これしかありません」

「ラクな仕事なんかない。でも、

好きな仕事につけばきっと頑張れるし、好きやから続けられる

んです」

自分の美術館を建てたい、できるならテーマパークを建てたい、映画づくりに関わりたいと、たかいさんの将来の目標や夢はたくさんある。

「ずっと先の夢はあるけど、実現させるためには、目の前の仕事をきちんとすること。目の前の仕事をきっちりしたら、次に行けるはずですよ」

ネコダルマンは世界一おめでたいキャラクター



たかいさんの選んだ道、つまり「ちょっとおちゃらけた、ギャグっぽい、おもしろキャラクター」を代表するのが、ネコダルマンである。

「20年くらい前は、そういうキャラクターを一般の人が可愛いと思ってくれるような時代ではなかったんです。宮崎駿さんが『となりのトトロ』をつくったあたりから、こういうのもありなんや、と世間一般に広がった。

宮崎駿さんのおかげやと思ってる

んですよ」

『となりのトトロ』が映画になるずっと前に、宮崎駿さんの『将来こんな映画をつくりたい』というスケッチがアニメの専門誌に載っていたんです。それを見たとき、めっちゃ可愛い、これ絶対、映画になったらええのにとおもいました」

「そのとき

キャラクターの力って偉大なんや

というのを知って、自分も何かキャラクターをつくらなあかん、と思いました」



そこで、自分ならではのキャラクターを創り出すために、自分がいま興味のあるものは何か、何が好きか、と考えたたかいさん。日本の民芸品が好きで、岡山や高山の日本民芸館を見に行っていたことを思い出す。

「そうや、

ダルマさんと、招き猫や。そのふたつを合体

させたら、世界で一番おめでたいキャラクターになる(笑)」

世界最強におめでたいキャラクターのネコダルマンがベースとなり、たかいさんから次々にいろいろなキャラクターが生まれて、製菓会社などのキャラクターに採用されていっている。

たかい・よしかずさんの[公式サイト「ネコダルマン・ファンタスティックワールド」](#)へぜひ

たかいさんの創り出したキャラクターが大集合。ギャグ漫画や、イタリア・ボローニャ国際絵本原画展の入選作品を見ることができる。展覧会やイベントの情報も。